

【品性訓練(5) 感謝！その祝福の法則】

今日の聖書本文:コロサイ人への手紙 2:6-7・暗唱聖句:コロサイ人への手紙 3:17 説教者:鄭南哲牧師



愛する信仰の家族のみなさん!一週間の間、お元気でしたか。“感謝があなたの人生を変えます!”という祝福の挨拶をお互いに交わしましょう。今日は2011年度の総会がある主日です。去年はみなさんにとってどんな一年だったのでしょうか。多事多難だった一年を振り返ってみながら今日も生きておられる神様に感謝の礼拝、感謝の総会として共にささげたいと思います。一年間の間、嬉しかったこと、楽しかったことだけではなく大変だったこと、悲しかったこと、心をいためたことなどもすべて神様の御前におろし、感謝ですべてをおささげしましょう。そして4月から新しく感謝の袋に神様の新しい恵みを入れて新たに感謝の一年を迎えますよう切にお祈り申し上げます。感謝という品性は我々がよく知っている品性でもありますが、なかなか生活にまでは生かしてない品性でもあります。古代ローマ時代の政治家であり、哲学者だったキケロという方はこう言いました。“感謝はほかのすべての品性の父と呼ばれるほど、人間にとって偉大な品性である。”今年の1月8日(感謝しよう!と決断する一年)というタイトルでメッセージをさせていただきましたが、今日は品性訓練5番目の時間として感謝について改めてともに神様の御言葉を通して学んでいきたいと思います。

<1.信仰の人たちの共通の品性:感謝>

聖書に出てくる信仰のすばらしい方々の共通する特徴は感謝することです。感謝は受けたことを受けたと言える事です。何かを施してくださった方からいただいたことを感謝することです。ダビデ王は感謝の生涯でした。神様からいただいた恵み、つまり、イスラエルの民たちが神様からいただいた恵みをかぞえながら感謝しています。

“わがたましいよ。主をほめたたえよ。主のよくしてくださったことを何一つ忘れるな。主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを穴から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、あなたの一生を良いもので満たされる。(詩篇 103:2-5)”

そして、ダニエルの生涯を黙想しながら感動されたのは彼の祈りと感謝でした。ダニエルは祈りをいのちのように思っていました。バビロンの王の命令を拒むと獅子の穴に投げ込まれ死ぬことを知っているのにもかかわらず祈り、さらに祈りながら感謝しました。“ダニエルは、その文書の署名がされたことを知って自分の家に帰った。一彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた。一彼は、いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。”(ダニエル書6:10) その当時ダニエルは白髪(はくはつ)の老人でした。彼の生涯を黙想しながら、彼の老年の時がもっと美しく信仰でかがやいた、たしかに信仰の大物だと思いました。使徒パウロも感謝の人でした。彼は万事に感謝しました。自分の弱さを感謝し、自分の受けた苦難と過去のあやまちさえも感謝しました。そして、さらに感謝するようにと進めました。

“あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりに信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。(コロサイ人への手紙2:6-7)” 今日我々が感謝する品性を追い求めるべき一番の理由は何よりもそれがイエス様の品性だからです。イエス様の生涯は感謝に満ちた生き方でした。感謝するべき理由があるから感謝されたのではなく、感謝がイエス様の習慣であり、行き方そのものでした。

<2.聖書の中に現れている感謝の原語の意味>

聖書の中で感謝という単語が入っている聖句は焼く178節ぐらいほどです。それだけでも聖書では我々に感謝の重要性を強調して下さっている証明であると信じます。旧約聖書で感謝という言葉はヘブル語で‘トダ(Toda)’と言いますが、この意味には‘喜んで歌を歌う、感謝のいけにえをささげる、ありがたいことを告白する’と言う意味です。この意味で一つ教えられるところがあります。感謝はその心、品性を表さなければならないことです。歌で、いけにえで、言葉の告白で神様に、人々に表現することが真の感謝であることが分かります。特にこの感謝のヘブル語‘トダ(Toda)’という言葉はもともと愛する夫婦がお互いに夫婦関係を結ぶ行動によって体が一つとなってお互いに深く知ることができた時に使われた言葉の意味の‘ヤダ(Yada)’という言葉から派生された言葉であることを知る必要があります。感謝のトダ(Toda)の語源となる知る意味のヤダ(Yada)との関係をとって分かることは、我々も神様を経験し、神様の愛を知ることができる人が真の感謝を知り、表すことができるということなのです。真の感謝は神様を正しく知り、経験する時に得る事ができる品性であることを忘れないで下さい。

新約聖書では感謝という言葉はユカリスティア(Eucharistia)という言葉が使われています。この言葉は恵みを意味するカリス(Charis)という言葉から派生されました。恵みとは一方的に施して下さる神様のお贈りものです。そして、面白いところは、このカリス(恵み)という言葉から感謝を表すユカリスティア(Eucharistia)だけではなく、喜びを意味する‘カラ(Chara)’という言葉と力、能力、賜物を意味する‘カリスマ(Charisma)’という言葉も派生されたことが分かりました。

つまり、これらの言葉を感謝と関連して分かりやすく解けて見ると、感謝は神様からの恵みを経験し、受けた者たちに与えられる心とその人の反応であり、感謝は真に喜びの人生として生ける力になれるものであることが分かります。主に感謝することは神様からのもっと多くの感謝を頂ける道になります。ですから感謝にはカリスマのような能力があり、人生を変える力があることが原語の言葉を通して分かるようになります。

だれよりこの世に来られたイエスキリストこそ、直接感謝の模範を弟子たちに示して下さいました(マタイ11:25,ヨハネ11:41)。そして感謝の大事さを一貫的に教えて下さいました(ルカ17:16,18)。イエス様は十字架につけられる前にも、最後に弟子たちとパンと杯をもって感謝をささげながら晩餐の時を持って下さいました。これから多くの罪人たちを救うために裂かれる

ご自分の体と罪を赦すために流すご自分を血を覚え、いつまでもイエスキリストのその愛と恵みに感謝を捧げつつ、生きておられる主と日々交わりながら感謝をもって歩めるように霊的な感謝の意味をさらに深く教えて下さったのです。その主の聖餐を英語でユカリスト(Eucharist)って言います。ユカリスト！どこか聞いた覚えがありませんか。そうです。先ほど感謝と言うユカリストティア(Eucharistia)というギリシャ語から出た言葉です。ですから、聖餐式の時はただイエスキリストの十字架の贖いの死を覚えながら悲しく守る時間ではなく、罪赦された主の恵みと愛に一番感謝を表すべき時間であることを共に覚えて生きましょう。

<3. 感謝に含まれている祝福>

愛する信仰の家族のみなさん！感謝こそ祝福と奇跡の秘訣であり、幸福の秘訣であり、人と良い関係を保つ秘訣であり、生活の変化と信仰の成熟の秘訣です。感謝を学び、訓練すれば何よりもみなさんの人生が明るくなります。心構えのわずかな差が大きく変えます。すこし姿勢を変えるだけでもその結果はすばらしいです。感謝の品性は私たちの姿勢を変えます。生き方が変わると、我々の運命も変わります。

感謝は幸福の秘訣です。 イスラエルのユダヤ人の知恵の本と言われる「タルムド」ではこう書いてあります。“この世で一番賢い人は学ぼうとする人であり、この世で一番強い人は自制できる人であり、この世で一番幸いな人はいつも感謝して生きる人である”という話があります。感謝する人は自足することができます。人生には満ち潮と引き潮の時がかならずあります。乏しい時もあり、富の時もあります。しかし感謝する人はどんな場合でもすぐ慣れます。なぜならどんな境遇にあっても感謝を見つけ感謝ができるからです。“乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。”(ピリピ4:11-12)幸福は決して遠くあるものではありません。我々のうちにあります。我々の態度にあります。[感謝]という本を書いたライアン(M.J.Ryan)は感謝こそが幸福の秘訣だと語っています。“幸福とは手を差し出せばいくらでも触れるところにある。しかし、幸福は感謝する人のみが味わえる。なぜなら感謝する瞬間だけはすべてが満たされ、足りないものはないと思うからである。”

そして**感謝はすべての人と良い関係を保つ秘訣です。**感謝する人は良い関係をもつことができます。良い関係をもてる秘訣はほかの人の長所をみることです。その人の明るい面と可能性、潜在力をみます。そして良い関係をもてる秘訣は人の弱点さえも肯定的に見ることです。感謝する人はどんな人に会ってもその人から良い点と肯定的な面を見つけます。事実、神様の目で見ると捨てることは何一つありません。聖書に出てくるヨセフのお兄さんたちはヨセフを嫌って穴に投げ込んで彼の長服をはぎとり、ミデヤン人の商人に売ってしまいました。しかし、結局そんなお兄ちゃんたちのおかげでヨセフは偉大な人になりました。ヨセフはそれをさとり、自分を売った兄弟たちを赦しました。それだけではあなく彼の兄弟たちを祝福し彼らのこどもたちにまでも育ててあげました。ヨセフはこう告白しました。

“あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。(創世記50:20)”神様の摂理の目で人を見ると憎しみの対象にはなりません。むしろ感謝の対象になるだけです。ですから使徒パウロは“すべてのことに感謝しなさい。”とすすめました。使徒パウロがすべてのことについて感謝ができたことには神様の摂理を信じたからです。“神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださる事を、私たちは知っています。(ローマ人への手紙 8:28)”

そして感謝は人を健康にさせるだけではなく、**逆境をチャンスに変える秘訣でもあります。**感謝は人生を逆転させる秘訣です。賛美歌の作詞を一番たくさん作った人の一人であるジェインクロスビー(Fanny Jane Crosby)姉妹の伝記を読んだことがあります。彼女は生まれて8週目に目を失い、一生涯視覚障害者として生きなければならませんでした。しかし彼女は自分の失明という絶望の中でもむしろ神様に感謝しながら自分の使命を果たそうとしました。彼女は94歳まで人々の心をいやす数々の賛美歌の作詞をし、その賛美は多くの人々に歌われてきています。彼女の代表的賛美歌である“すくいぬしイエスと。”“つみとがをゆるされ”、“この世のたびじに”、“いわなるイエス”などの歌詞を読んでいると、様々な障害の中であって彼女がどれだけ神様に感謝しながら生きてきたのかが良く分かります。

彼女の伝記に彼女は最後にこう残しました。“目が見えなかったとき私はそれが良いことだと知りませんでした。しかし、もし私が盲人でなかったらどうやって人々を助けることができたのか考えます。一日を失敗した時私は挫折せず、むしろ明日を勝とうと自分に言い聞かせました。そしてうまくものごとがいかなかった時、私は神様がもっといいもので導いてくださると確信しました。見る事ができなかった私に、神は見る事よりもはるかに大切なことを成そうとしていた神様のご計画があることを信じていました。なので私はいつも神様に感謝することができました。私に大切なことはないが、神様は私にもっと大切なものを与えてくださいました。”感謝は私たちの逆境さえも新しいチャンスとしてさせてくれます。

感謝の品性は成熟した信仰のしるしです。

霊的成熟と未熟さは感謝する態度でわかります。信仰がない人の特徴は神様に感謝することを知らないし、できないということでしょう。そしてまだ未熟な人の特徴も神様に感謝しないことです。“それゆえ、彼らは神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。”(ローマ人への手紙 1:21)感謝しないたましいは神様に栄光をささげることができないと言われます。神様に感謝のできない思いはむなしくて、愚かで暗くなるのだと言われます。フランシスシェパという有名な神学者は“人々が神様に反逆し始める時は感謝する心がない時であって、いまもそうである。”と言いました。反面感謝するたましいは神様を喜ばせます。“感謝のいけにえをささげる人は、

わたしをあがめよう。その道を正しくする人に、わたしは神の救いを見せよう。”(詩篇50:23) 成熟すれば感謝することができますようになりますが、同時に感謝すれば成熟します(コロサイ3:16-17)。聖霊に満たされた人の特徴は感謝にあります。ゴードンマックドナルドが書いた[神様が祝福された人生]という本に“どんな老人になりたいのか?”という質問があります。彼は美しく年を老いた年配の方々の姿からみられる一番の特徴を感謝におきながら次のように付け加えます。“まず頭に思い浮かぶ単語は感謝でした。彼らはみな感謝する人です。彼らの会話、手紙、出来事に対して彼らの反応は同じく感謝することである。彼らは自分たちのために、もしくはほかの人々のために必要なことをすぐ気付くのだ。感謝のできるためには乗り越えてしまうことさえも見逃さないすどい目が必要である。感謝する方々にはその目があるのだ。そういうわけで、彼らはいつも神様に、愛する家族に、友人たちに、そして自分たちに来てかづけられていく若い者たちに感謝の一言を忘れない。”

4. 適用:すると感謝する習慣と姿勢を持つためにはどうすればいいでしょうか。?

一つ目、日々、神様から受けた祝福を具体的に数えて見て下さい。

感謝する人々は神様から与えられた祝福を忘れません。なぜでしょうか。神様から与えられた祝福を数えるからです。自分が受けた祝福を数えれば数えるほど、自分たちが受けた祝福がどれだけ多くあるのかわかるようになります。目に見える祝福だけではなく見えない祝福も数えて見て下さい。そして受けた神様の祝福に対して感謝してください。人はいつも自分がだれかにやってあげたことはよく覚えていても、自分が持っているもの、受けたことはすぐ忘れてしまう傾向があります。自分にはないもの、足りないものばかり考えるためなかなか感謝することができません。感謝は我々に祝福を与えて下さった神様の恵みに対する反応です。ですから、自分がなにをいただいたのかははっきり知らなければなりません。与えられた祝福を知らなかったり、その祝福を受ける資格がないと思うと感謝と喜びを感じることはできません。愛する信仰の家族のみなさん! いま生きていること自体がすでに神様の祝福をいただいているではありませんか。ですから神様からいただいた祝福なんかないわと言わないでください。日々与えられた祝福を数えてみましょう。ジョンメイソン(John Mason)は“与えられたことに対して感謝の知らない人はこれから自分に与えられることに対しても感謝することはできないはずだ。”と言いました。

二つ目に、自分たちに愛と助けをほどこしてくださった方々に感謝を具体的に表してください。

実は生きてきている今まで我々は多くの人からの愛を受けました。我々がするべきことは感謝を表すことです。感謝する気持ちだけでは足りません。言葉でも、文字でも、なんだかの形で感謝を表さなければなりません。今の時代を4無の時代だとよく言われます。‘無感動、無責任、無関心、無目的’の時代だと言われています。だからこそ、この時代感謝が必要です。感謝を表すと相手が感動することをご存知ですか。なぜですか。感謝を表す人は少数なので、感謝のできる人に会うと感動を受けます。良いことを続けさせる道は感謝を表すことです。もっとすばらしい祝福は感謝を表す時の感謝の対象だけではなく感謝を表す我々の心も感謝と喜びで満たされるということです。

三つ目、すべてのことを肯定的に解釈してください。

大切なのは起きた出来事より解釈です。我々の人生において起きてくる出来事を失敗として見ることも、神様の恵みと感謝として見ることもできます。つまり、我々がその出来事にどうやって反応し、解釈するのかによって同じ問題でも全然違ってきます。感謝をもって神様の御手にゆだねるときその出来事は奇跡を生み出します。ヨセフは身のまわりに起きてくるすべての苦しい出来事を信仰をもって肯定的に解釈しました。使徒パウロも同じです。彼も自分の弱さとやまいはキリストの力を体験させていただく道具となったと解釈しました。

四つ目、“すべてのことについて感謝しなさい。”という御言葉を理解しようとしなくて単純に従ってください。

神様は使徒パウロを通して“すべてのことについて感謝しなさい”と命じられました。この御言葉に従ってください。従えば奇跡を味わえます。どんなときについてもまず感謝してください。どうしても感謝ができないことさえもとりあえず感謝して見て下さい。すると神様は感謝のできない出来事を感謝のできる出来事に変えてくださいます。神様は生きておられ、かならずこの難しい出来事も通り抜けるようにさせ、益として下さると信じる人は感謝することができます。限界ある自分の頭で全部深く理解しようとしなくてただ従ってください。信仰によって生きるというのは従うことを意味します。みでから信じるのではなく、信じるためみるようになるのです。理解してから従うのではなく従えば悟り、理解するようになるのです。

感謝を習慣化し生活化にしてください。どんな問題にぶつかったとしても思い煩わないで感謝をもって神様に申し上げてください。思い煩いは非生産的でなんの助けにもなりません。しかし、思い煩いを祈りに換えるとき、奇跡は起こります。祈る時感謝をこめるともっと強力な神様の御業が表されます。“何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。(ピリピ人への手紙4:6-7)” アーメン!

神様にいつも感謝しながら会う人々に感謝を表してください。感謝する人は磁石のようでいつも良いものを引き寄せます。感謝する人とつきあってください。そうすればみなさんもいつのまにか感謝の人になっていると思います。感謝する人は感謝する人に会えるし、感謝すればするほど感謝することがたくさん起きてきます。イギリスのスパルジョン先生が残した感謝の言葉が私の心に刻まれています。“不幸である時、感謝すると不幸が終(しま)いになり、順境(じゅんきょう)の時、感謝するとその順境は続く。”

残りの3月も感謝をもって閉じ、4月から始まる新年度にも感謝を通してもっと豊かな神様の祝福と恵みをいただきたいと思います。お祈り申し上げます。感謝を通してすばらしい関係をむすび、なによりも感謝をもって神様に栄光をささげるクリスチャンプレイズチャーチのみなさんとなりますように主イエスの御名によって祝福します。アーメン